

令和6年 第2回金沢市教育委員会定例会議

1 日 時：令和6年2月21日（水） 13時30分～15時00分（予定）

2 場 所：金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 審議等

頁

議案第2号 令和6年度金沢市教職員研修の基本方針（案）について

（学校教育センター）・・・ 1

議案第3号 令和5年度金沢市議会3月定例会月議会提出予定案件について

【非公開案件】（教育総務課他）・・・ 4

報告第2号 馬場小学校と明成小学校の統合に伴う校章及び式典について

（教育総務課）・・・ 25

報告第3号 次期金沢型学校教育モデルの骨子について

（学校指導課）・・・ 28

その他 （1）次回の定例会議の日程について

令和6年度金沢市教職員研修の基本方針（案）について

令和6年2月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和6年度 金沢市教職員研修の基本方針（案）について

1 金沢市教職員研修の基本的な考え方

令和の日本型学校教育を担う「新たな教師の学び」を支えるため、デジタル技術を活用した研修推進体制を構築し、教職員研修の高度化を進めるとともに、教員育成指標に基づいた教職員に求められる資質・能力の育成に向けた教師の個別最適な学び、協働的な学びを実現する研修の充実に取り組む。

2 金沢市教職員研修の重点

- (1) 教員育成指標に基づき、求められる資質・能力の育成に向けた研修の充実を図る。
- (2) 「デジタル」と「リアル」を組み合わせた新たな教師の学びを推進する研修の充実を図る。
- (3) 若手教員育成の推進及び次世代リーダーの育成に向けた研修の充実を図る。
- (4) 学習指導要領に対応し、金沢型学習スタイルに基づいた実践的指導力の向上を図る研修の充実を図る。
- (5) 教員研修プラットフォーム等を活用した教職員自らの主体的な学びのマネジメントを推進する。

令和5年度 金沢市教職員研修の実施状況について

1 教職員研修実施状況（2月実施見込みを含む）

種別	令和5年度	実施方法		令和4年度
		対面（集合等）	オンライン	
1 人材育成	65 講座（3,361 人）	49 講座（2,613 人）	16 講座（748 人）	67 講座（3,624 人）
2 授業力の向上	33 講座（1,288 人）	7 講座（161 人）	26 講座（1,127 人）	31 講座（1,502 人）
3 重要課題への対応	10 講座（396 人）	4 講座（106 人）	6 講座（290 人）	10 講座（348 人）
4 専門的知識・技術の向上	27 講座（1,672 人）	14 講座（684 人）	13 講座（988 人）	24 講座（1,504 人）
5 個別支援型研修の充実	22 講座（1,261 人）	20 講座（1,224 人）	2 講座（37 人）	23 講座（1,256 人）
合計	157 講座（7,978 人）	94 講座（4,788 人）	63 講座（3,190 人）	155 講座（8,234 人）

2 法定研修実施状況

(1) 初任者研修

・校外研修講座数 30 講座 ・受講者 76 人（小46人、中25人、高1人、養護1人、栄養1人、事務2人）

(2) 中堅教諭等資質向上研修（採用から11年目）

・校外研修講座数 8 講座 ・受講者 67 人（小44人、中21人、高1人、養護1人）

3 新設した研修講座等の状況

(1) 新しい教員育成指標に対応した研修講座の状況

・「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」に関する研修（講座数 16 講座 受講者 1,150 人）

・「ICTや情報・教育データの利活用」に関する研修（講座数 8 講座 受講者 327 人）

(2) 次世代リーダー育成研修講座の状況

・次世代リーダー育成研修（年4回実施 受講者 29人）

令和5年度金沢市議会3月定例会議会提出予定案件について
【非公開案件】

令和6年2月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

馬場小学校と明成小学校の統合に伴う校章及び式典について

令和6年2月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

馬場小学校と明成小学校の統合に伴う校章及び式典について

本年4月の馬場小学校と明成小学校の統合に伴う校章及び式典について、現在、制作・準備を進めている。

1. 校章について

(1) 制作委託 金沢美術工芸大学

監修 : 寺井 剛敏 教授 (美術工芸学部デザイン科ホリスティックデザイン専攻)

デザイナー : 西田 英一 氏 (金沢美術工芸大学卒業生)

(2) デザインとコンセプト



明成小学校は金沢市において、町名や校下の名勝などが学校名となっていない数少ない小学校です。「明成」という学校名、その由来や旧校章デザインから、他校にはない「洗練された新しさ」が息づいています。この校章は、新しく統合する馬場小学校、そして前身である瓢箪町小学校、此花町小学校の3つの頭文字「B・H・K」で、漢字の「明」を造形しています。個性豊かでアイデアにあふれる聡明な子どもが育ち、未来感のある小学校をイメージしたデザインです。

2. 馬場小学校閉校式

- (1) 日 時 令和6年3月23日(土) 午前10時から
- (2) 場 所 馬場小学校体育館
- (3) 主 催 金沢市立馬場小学校閉校記念事業実行委員会

3. 馬場小学校・明成小学校統合記念式

- (1) 日 時 令和6年4月8日(月) 午前8時30分から
- (2) 場 所 明成小学校体育館
- (3) 主 催 金沢市・金沢市教育委員会

次期金沢型学校教育モデルの骨子について

令和6年2月21日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

次期金沢型学校教育モデルの骨子について

新しい時代が求める自学・共創の学びを通して、デジタル力・読解力・コミュニケーション力を基盤に、児童生徒が「自分はどうか」「自分はどうか」「自分に何ができるか」を考え、「自分」と「みんな」で新しい価値や最適解を見出す創造力を育む次期金沢型学校教育モデルの骨子について報告する。

1 次期金沢型学校教育モデルの内容

(1) 「創造力」を育むための基盤となる3つの力

① デジタル力

発展的プログラミング学習や先端技術を学習することに加え、重点的に情報活用能力を育成するD(デジタル)タイムを各教科の教育課程に位置付ける。

② 読解力

知・徳・体の調和のとれた特色ある教育課程の編成に加え、重点的に読解力を育成するR(読解)タイムを各教科の教育課程に位置付ける。

③ コミュニケーション力

金沢ふるさと学習と豊かな体験活動を通して、感性を磨くことに加え、重点的にコミュニケーション力を育成するC(コミュニケーション)タイムを各教科の教育課程に位置付ける。

(2) 3つの要素で構成

① 金沢ベーシックカリキュラムの改訂 (何を学ぶか)

「創造力」を育むために、基盤となるデジタル力・読解力・コミュニケーション力の育成を重点とした学習内容を示すことで、金沢独自の小・中学校の教育課程の基準を明確にすることを目的とする。

② 金沢探究スタイルの策定 (どのように学ぶか)

金沢型学習スタイル(ICT版を含む)とデジタル力・読解力・コミュニケーション力を基盤に、「自分はどうか」「自分はどうか」「自分に何ができるか」を考える探究的な学びを通して、「創造力」を育成することを目的とする。

③ 金沢リフレクションの策定 (何ができたか)

何を学ぶかを示した「金沢ベーシックカリキュラム」、どのように学ぶかを示した「金沢探究スタイル」、土台となる金沢独自の小中一貫教育により、児童生徒がデジタル力・読解力・コミュニケーション力について、身に付けることができたかを振り返ることを目的とする。

2 今後の予定

第4回構築会議を令和6年5月頃開催し、構築予定。

新しい時代が求める自学・共創の学びを通して、デジタル力・読解力・コミュニケーション力を基盤に、児童生徒が「自分はどうか」「自分はどうか」「自分に何ができるか」を考え、「自分」と「みんな」で新しい価値や最適解を見出す創造力を育む金沢の学校教育

新しい価値や最適解を見出す

創造力

何ができるようになったか

学びの成長を自覚する **金沢リフレクション**
(振り返り)

主体的に
デジタル社会と関わる
デジタル力

学び続けるための
土台となる
読解力

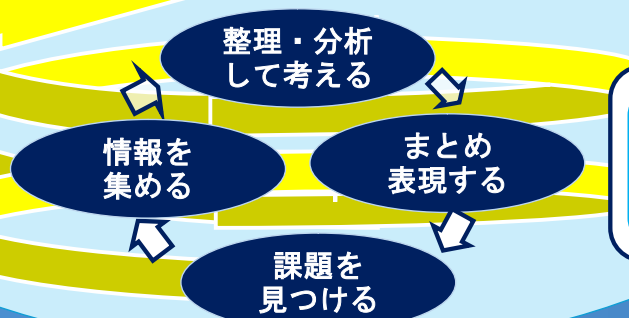
他者を尊重し
自分の意思を伝える
コミュニケーション力

どのように学ぶか

自ら問い、自ら行う **金沢探究スタイル**

デジタルで
いつでも、どこでも、だれとでも学ぶ

リアルで
本物に触れて、感性を磨く



何を学ぶか

新しい時代に対応する力を育む **金沢ベーシックカリキュラム**

デジタルに特化した学習 + 教科のD (デジタル) タイム

各教科の教育課程 + 教科のR (読解) タイム

金沢ふるさと学習 + 教科のC (コミュニケーション) タイム
文化芸術等体験活動

金沢独自の小中一貫教育